



富田東小だより

郡山市立富田東小学校
学校便り No.13
令和4年 3月11日
文責：校長 齋藤和彦

3/6 まん延防止措置の解除..ですが、 「解除＝安心」ではありません



3/6(日)をもって県感染症「まん延防止対策等重点措置」が解除となりました。..が、『解除＝安心』ではないことを再確認して、校内の感染防止対策の段階的な解除とともに、感染予防徹底を継続します。

3/7(月)～感染防止対策【●継続 ○解除】

- 【基本的生活様式】①マスク(不織布推奨)
②教室換気 ③黙食 ④相互活動の距離
- トイレの学年内時間差使用による密回避
- 授業中の教室窓換気の強化(業間:全開)
・常時、教室窓の開け幅を広げます
- 放課後の校舎一斉換気と消毒(職員作業)
- 授業内離席交流活動の制限
※身体接触を伴う英語アクティビティーやグループ交流等(密接:握手やタッチ等)
- 学年相互の人流(交流)停止の解除
英語Room・理科室・交流学习の使用再開
- 体育館の通常授業(使用)再開
・長時間の身体的接触運動は自粛
- 高学年の6校時授業の再開



「3.11 東日本大震災」を語り継ぐ ～あたり前の日常への感謝～

11年前の今日、現実としてあった大地震..原発事故～放射能の脅威から必死で子ども(皆さん)を守りぬいた家族があったこと..を「防災教育」で伝えました。市:防災危機管理課より、5.6年生に『災害備蓄用クラッカー』が配付され、当時の避難生活の状況や災害に備える市施策についても学ぶことができました。【本日5.6年生に配付したクラッカーの賞味期限は、3/15(火)までです】

新型感染症の脅威とも隣り合わせの今、あたり前の生活に..マスクをはずして勉強ができる..みんなと仲良く握手して過ごすことができる日にもどるまで..感染防止対策の全市・富東作戦にご理解ご協力お願いします。

次年度の学校経営のひとつに.. 『こんなこと..を考えています。』

次年度の児童数は、949名[3/11現在]
「本校で学ぶ..すべての子を大切にします」
そのための実効性ある具体的な方法を考えています。【誰もが、わかる・できる授業】
・日々の授業をきちんとしていれば学級は崩れません。
・日々の授業をきちんとしていれば子どもは迷いません。

ですから、子どもにとっての日々の授業を大切にしたいのです。※きちんとが重要です。
きちんとするために、教師が勉強して工夫して..日々の授業への「ひと手間」を用意します。次年度は更に、どの子どもも安心して学べる場を用意したいと考えています。

教室の中には、「もっとゆっくりだったらやるきがでるんだけどなぁ」「少ない人数で、静かだったら安心できるんだけど..」
このような子のねがいに応えるクラスです。
どの子どももきちんと学べる環境の場です。

“スペシャルな学びの場”(クラス)です。
～主に、1.2校時の国語・算数の学習の場を予定しています。(担当の先生は、専任配置)

子どもの学習状況・保護者の要望に応じて担任と相談しながら、柔軟に..計画的かつ意図的に、校内通級できる場の開設を..考えています。

(次年度あらためてお知らせします)



<6年生児童の感想より>

- 私は東日本大震災の記憶はないけれど、母からの当時の写真や話で、すごくひどい地震だったことや津波の怖さを知りました。
- 郡山市は、いざという震災時のために食料などを備蓄して、市民の安心やぼくたちの生活を守ってくれることはありがたいと思いました。
- 非常事態のために、市が水や食料を備蓄してくれていること知って、電気や水などの資源をむだ使いしないようしようと思いました。
- 震災はない方がいいけれど、こうして、期限が迫ったクラッカーを配ってくれることは、SDGsにもつながるので、少しうれしかったです。